

さくらの街REPORT

2019

令和元年度上半期 経営情報



 さくらの街信用組合

笑顔満開 ずっとかわらぬ思いやり

目 次

目 次	1
ごあいさつ・上半期の業績について	2
預金、貸出金の推移	3
決算損益の推移	4
自己資本比率・自己資本額の推移	5
不良債権残高・不良債権比率の推移	5
主要経営諸指標	6・7・8・9
金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	9
地域貢献	10
地域密着型金融の推進	11
文化的、社会的貢献	12
合併のご案内	15

ごあいさつ

皆さまには平素より「さくらの街信用組合」に格別なご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、令和元年9月期の業務内容をまとめたミニ・ディスクロージャー誌を作成いたしました。本誌をご高覧いただき、当組合へのご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

さて、地方の景況感は依然として改善されず、厳しい状況が続いております。また、金融機関を取り巻く環境も経営を圧迫する超低金利が続く中、将来の人口減少、少子高齢化など一層厳しさを増しております。

私どもさくらの街信用組合と新栄信用組合は、協同組織の特性である人的結合と地域密着により経営基盤を拡大・強化し、地域社会の発展と向上に貢献していくことで組合員の皆様から信頼される地域金融機関を構築すべく、令和元年12月9日(月)をもちまして、新組合「はばたき信用組合」としてスタートいたします。

「はばたき信用組合」は、新潟市9店舗、阿賀野市2店舗、五泉市2店舗の計13店舗を有する信用組合となり、これまで以上に地元の皆様のご要望にお応えすることができ、利便性も増すものと確信しております。これからも両信用組合の伝統や特徴を生かしつつ、さらに広がった地域の皆様とのふれあいと絆を大切に、信頼され親しまれる地域金融機関として、一層のサービスの向上と地域貢献、健全経営に努める所存でございますので、引続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 長谷川信一

上半期の業績について

令和元年度上期の日本経済全般の動向は、当面、海外経済の減速の影響が続くものの、国内需要への波及は限定的となり、都市部を中心とした景気の拡大基調が続くとみられます。

また、地域においては個人消費が回復傾向ではありますが、地域経済の改善にはある程度の時間を要すものと予想されます。

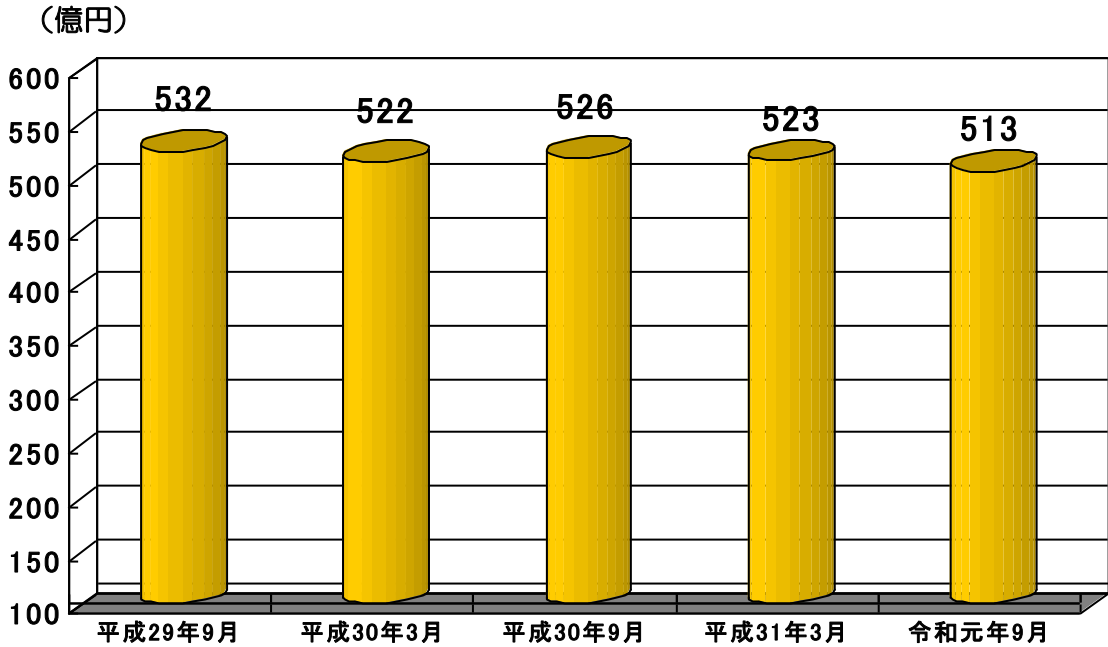
このような状況の下、当組合における上半期の業績は預金残高で51,324百万円、貸出金残高は26,983百万円となりました。また、収益面においては金融政策による市場金利の低下が影響を及ぼし、貸出実行金利は低下し貸出金利息収入を含めた資金運用収益は341百万円となり、前年同期比で16百万円減収いたしました。

一方、費用面においては経費等の抑制策が奏功し、業務費用は前年同期比で19百万円縮小し358百万円となりました。その結果、令和元年9月期においては、中間純利益は△1百万円の計上となりました。

預金、貸出金の推移

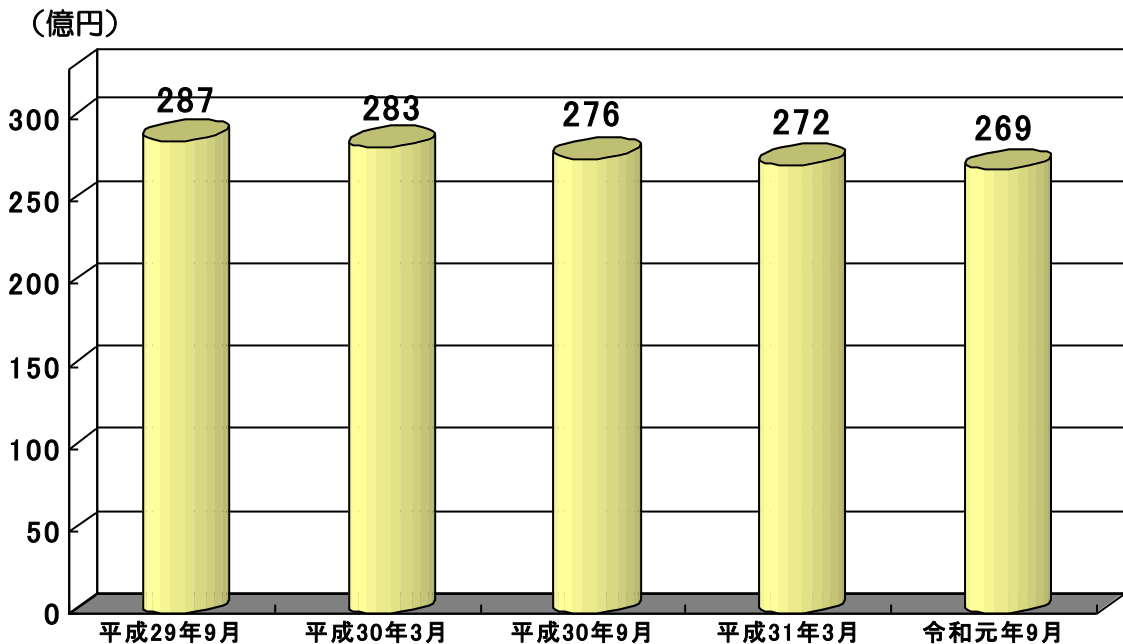
預 金

預金は収益確保のために、融資開拓に特化した営業を行ったことやキャンペーン等の実施もなかったことから前年同月比で13億円、前期末比では約10億円の減少となりました。



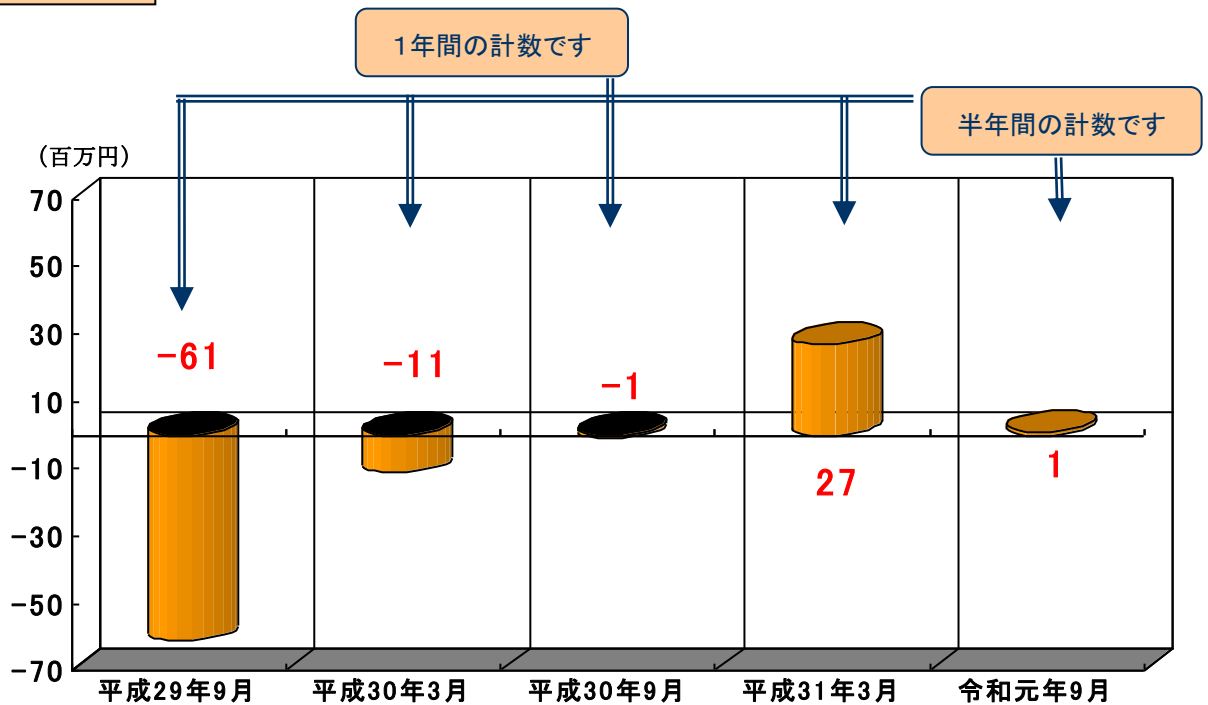
貸 出 金

貸出金は量的拡大ではなく、収益を重視した開拓活動を行ってきましたが目標に達成せず、前年同月比で約7億円、前期末比では約3億円の減少となりました。



業務純益

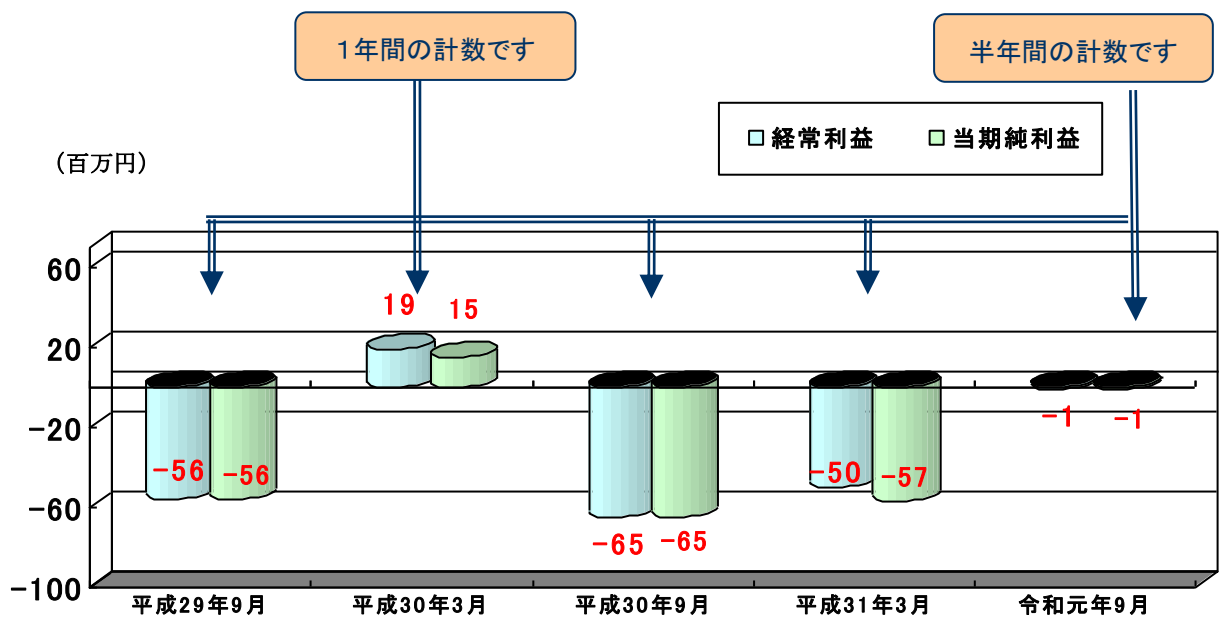
融資開拓が目標未達成となりましたが経費等の削減を行ったことから業務純益は前年比で2百万円増加しましたが、前期比で26百万の減少となりました。



(注) 業務純益とは、預金・貸付・為替業務など金融機関の基本的な業務の成果を示す指標です。具体的には、貸出金、預け金、有価証券の受取利息と手数料収入等から、預金利息、支払手数料、一般貸倒引当金、経費等を差し引いたもので、一般企業の営業利益に該当します。

経常利益、当期純利益・中間純利

昨年度は不良債権処理費用が大きく影響した事や業務純益が増加したことから9月期の経常利益は△1百万円、当期純利益も△1百万円となりました。

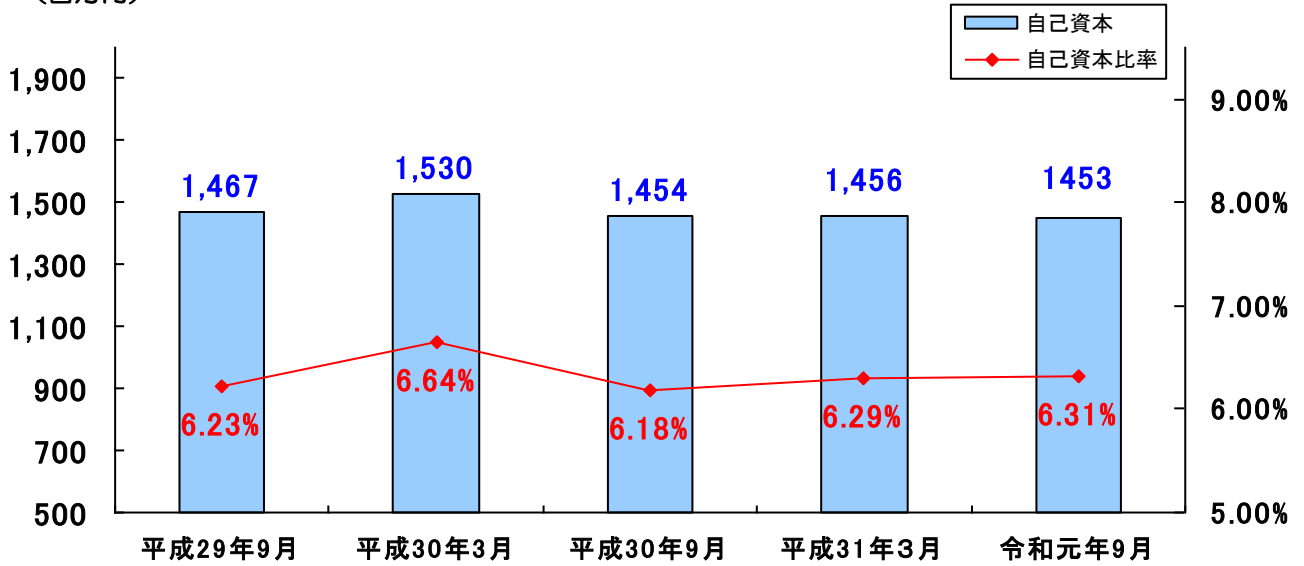


(注) 「経常利益」とは、業務純益から個別貸倒引当金、貸出金償却等の臨時的費用を差し引き、株式売却益等の臨時的収益を加えた利益で、経営成績の実態を最も反映した計数です。「当期純利益」とは、経常利益からその年限りの特別な利益・損失や、法人税等を加減した最終的な利益です。

自己資本

自己資本比率は貸出金残高の減少したことから前期末比 0.02%増加しました。

(百万円)

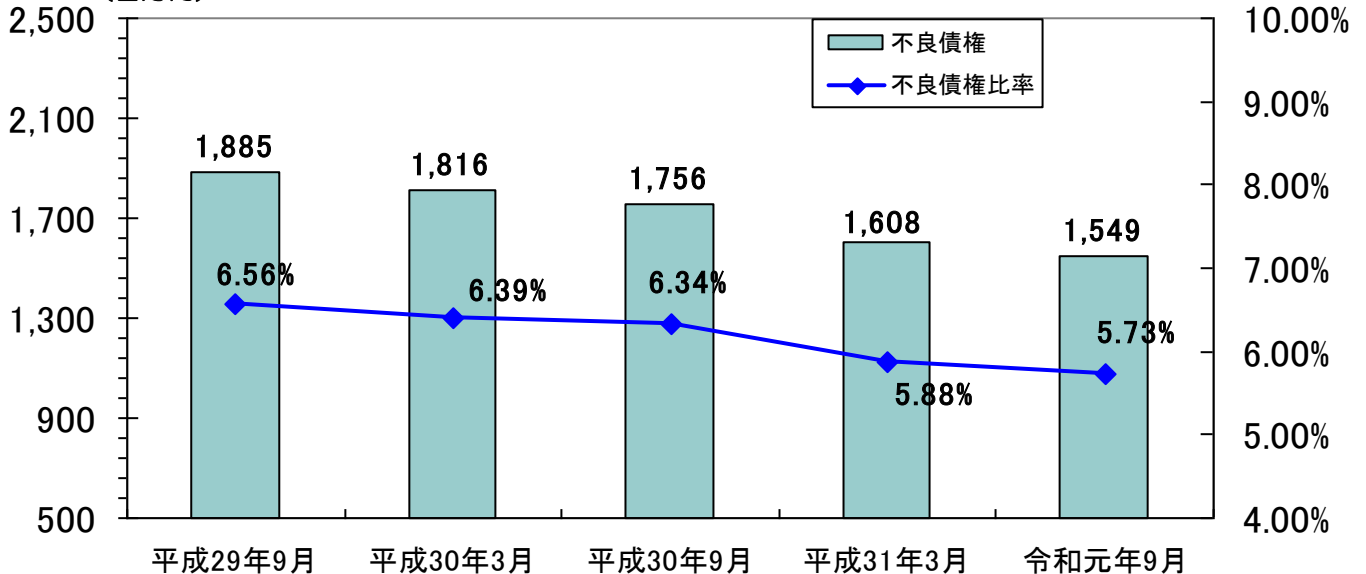


(注) 「自己資本比率」とは、金融機関の体力を示す重要な指標であり、当組合では国内のみで営業を行う金融機関に必要とされる4% (国内基準) を大きく上回っています。自己資本とは、組合員からの出資金と内部留保の積上げである積立金等及び一般貸倒引当金で構成されております。

不良債権

不良債権残高は 1,549 百万円で不良債権比率は 5.73%です。
お取引先の経営改善支援に積極的に取り組んでおります。

(百万円)



(注) 不良債権とは、金融機関が融資したお金のうち、回収できなくなったり、回収できなくなりそうなお金のことです。不良債権の開示金額は、差し入れられた担保などを控除する前の金額で表していますので、公表された金額すべてが回収不能になるわけではありません。

主要経営諸指標

1. 貸借対照表

(単位：千円)

資産の部			
科目	平成30年9月期	令和元年9月期	平成31年3月期
現金	830,485	719,408	728,743
預け金	23,406,611	23,270,817	23,855,752
有価証券	1,988,393	1,334,030	1,413,846
貸出金	27,640,131	26,983,048	27,299,364
その他資産	296,148	329,272	358,345
有形固定資産	504,410	487,513	494,608
無形固定資産	5,647	4,998	5,323
繰延税金資産	-	-	-
債務保証見返	1,906	1,433	1,600
貸倒引当金	△268,081	△172,618	△170,089
(うち個別貸倒引当金)	△249,808	△151,148	△145,733
資産の部合計	54,409,428	52,957,904	53,987,496

負債及び組合員勘定の部			
科目	平成30年9月期	令和元年9月期	平成31年3月期
預金積金	52,611,536	51,324,875	52,302,581
借入金	105,000	-	-
その他負債	125,230	78,439	140,583
賞与引当金	9,278	8,674	-
退職給付引当金	39,563	35,942	40,555
役員退職慰労引当金	5,995	2,475	2,475
その他の引当金	6,453	4,692	2,309
繰延税金負債	-	-	-
再評価による繰延税金負債	11,197	11,197	11,197
債務保証	1,906	1,906	1,600
負債計	52,966,160	51,467,752	52,519,369
(純資産の部)			
出資金	660,634	658,437	658,427
利益剰余金	768,344	766,794	771,595
組合員勘定合計	1,428,978	1,425,231	1,430,022
その他有価証券評価差額金	△14,995	35,635	8,832
土地再評価差額金	29,285	29,285	29,285
評価・換算差額等合計	14,289	64,920	38,117
純資産の部合計	1,443,267	1,490,152	1,468,139
負債及び純資産の部合計	54,409,428	52,957,904	53,987,496

2. 損益計算書

(単位：千円)

損失の部			
科目	平成30年9月期	令和元年9月期	平成31年3月期
経常費用	447,607	367,932	736,165
資金調達費用	5,484	4,487	10,786
預金積金利息	4,711	4,454	9,288
借入金利息	737	-	1,427
その他支払利息	35	32	70
役員取引等費用	52,358	51,219	103,963
その他業務費用	145	139	227
経費	330,557	305,607	621,187
その他の経常費用	70,081	9,364	112,171
貸倒引当金繰入額	69,991	5,414	-
貸出金償却	-	-	90,105
その他	90	3,950	22,066
特別損失	135	-	7,172
法人税住民税及び事業税	-	-	770
法人税等調整額	-	-	△2,115
中間純利益	△65,198	△1,491	△61,960
(3月期は当期純利益)			
合計	382,544	366,411	798,094

利益の部			
科目	平成30年9月期	令和元年9月期	平成31年3月期
経常収益	382,544	366,441	798,094
資金運用収益	357,782	341,433	702,257
貸出金利息	331,108	315,187	656,614
預け金利息	11,475	11,505	22,407
有価証券利息配当金	9,351	7,964	17,381
その他の受入利息	5,847	6,776	5,854
役員取引等収益	16,940	17,885	40,960
その他業務収益	1,378	509	20,069
その他経常収益	6,442	6,613	34,806
特別利益	-	-	-
利益合計	382,544	366,411	798,094

3. 経営指標の推移

(単位：千円、人)

		平成 30 年 9 月期	令和元年 9 月期	平成 31 年 3 月期
利 益	経常収益	382,544	366,441	798,094
	業務純益	△1,424	1,260	27,122
	経常利益	△65,063	△1,491	△50,242
	当期純利益	△65,198	△1,491	△61,960
	(9 月は中間純利益)			
残 高	預金積金残高	52,661,536	51,324,875	52,302,581
	貸出金残高	27,640,131	26,983,048	27,299,364
	有価証券残高	1,988,393	1,334,030	1,413,846
	総資産額	54,409,428	52,957,904	53,987,496
	純資産額	1,443,267	1,490,152	1,468,139
出資総額		660,634	658,437	658,427
職員数		75	68	70

4. 諸利回・諸比率

(単位：%)

	平成 30 年 9 月期	令和元年 9 月期	平成 31 年 3 月期
資金運用利回	1.34	1.30	1.32
経費率	1.25	1.18	1.22
資金調達原価率	1.26	1.19	1.19
総資金利鞘	△0.07	△0.10	0.12
預貸率(末残)	52.48	52.57	52.19
預証率(末残)	3.77	2.59	2.70
業務収支率	100.37	100.73	96.44

5. 自己資本比率・自己資本額

(単位：千円・%)

	平成 30 年 9 月	令和元年 9 月	平成 31 年 3 月
普通出資又は永久優先出資に係る組合員勘定	1,428,978	1,426,722	1,426,712
うち出資金及び資本剰余金の額	660,634	658,437	658,427
うち利益剰余金の額	768,344	768,285	771,582
うち、外部流出予定額(△)	—	—	3,296
うち、上記以外に該当するものの額	—	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	18,273	21,470	24,355
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	18,273	21,470	24,355
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—	—
土地再評価額と再評価直前の簿価の差額の 45%に相当する額のうち、経過措置によりコア資本に含まれる額	10,930	9,108	9,108
コア資本に係る基礎項目の額	1,458,181	1,457,300	1,460,176
コア資本に係る調整項目の額	3,268	3,616	3,850
自己資本の額	1,454,913	1,453,684	1,456,325
リスク・アセット等計	22,217,391	23,030,119	21,895,575
自己資本比率	6.18	6.31	6.29

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

2. 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第 6 条第 1 項において準用する銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 22 号)」に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。

6. 資金運用状況

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円・%)

	平成30年9月期		令和元年9月期		平成31年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
製造業	2,087	7.6	2,115	7.8	2,019	7.4
農業、林業	301	1.1	280	1.0	313	1.1
漁業	—	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	233	0.8	208	0.7	221	0.8
建設業	4,496	16.3	4,145	15.3	4,500	16.5
電気・ガス・熱供給・水道業	179	0.7	163	0.6	175	0.6
情報通信業	—	—	—	—	—	—
運輸業、郵便業	502	1.8	444	1.6	449	1.6
卸売業、小売業	1,627	5.9	1,410	5.2	1,553	5.7
金融業、保険業	107	0.4	4	0.0	6	0.0
不動産業	775	2.8	897	3.3	819	3.0
物品賃貸業	—	—	—	—	—	—
学術研究、専門・技術サービス業	167	0.6	174	0.6	147	0.5
宿泊業	294	1.1	367	1.3	317	1.2
飲食業	258	0.9	229	0.8	244	0.9
生活関連サービス業、娯楽業	233	0.8	219	0.8	216	0.8
教育、学習支援業	36	0.1	34	0.1	34	0.1
医療、福祉	62	0.2	57	0.2	58	0.2
その他のサービス	2,012	7.3	1,908	7.0	1,936	7.1
その他の産業	128	0.5	108	0.4	114	0.4
小計	13,506	48.9	12,770	47.3	13,129	48.1
地方公共団体	1,458	5.3	1,850	6.8	1,756	6.4
個人	12,675	45.9	12,362	45.8	12,413	45.5
合計	27,640	100.00	26,983	100.00	27,299	100.00

資金運用勘定残高・構成比

(単位：千円・%)

	金額	構成比
預け金	23,270,817	44.9
国債	—	—
地方債	42,708	0.1
短期社債	—	—
政府保証債・公社公団債	—	—
事業債	200,720	0.4
株式	56,977	0.1
その他の証券	1,033,624	2.0
貸出金	26,983,048	52.1
その他	205,000	0.4
合計	51,792,896	100.00

7. 有価証券の状況

有価証券は保有目的に応じて①売買目的有価証券②満期保有目的の債券③子会社株式及び関連会社株式④その他有価証券に区分して管理することになっております。

令和元年9月末の有価証券の時価と取得価額の差額は36百万円です。

有価証券の時価情報

「満期保有目的の債券で時価のあるもの」

(単位：百万円)

	令和元年9月期					(参考)平成30年9月期				
	貸借対照表 計上額	時価	差額	うち評価損		貸借対照表 計上額	時価	差額	うち評価損	
				うち評価益	うち評価損				うち評価益	うち評価損
その他	100	100	0	0	—	100	100	0	0	—
合計	100	100	0	0	—	100	100	0	0	—

「**其他有価証券で時価のあるもの**」

(単位：百万円)

	令和元年9月期					(参考)平成30年9月期				
	貸借対照 表計上額	取得原価	評価差額		貸借対照 表計上額	取得原価	評価差額			
			うち評価益	うち評価損			うち評価益	うち評価損		
株式	10	12	△1	—	1	14	12	1	1	—
債券	1,046	1,043	3	3	0	1,640	1,658	△17	2	20
国債	—	—	—	—	—	693	710	△16	—	16
地方債	42	42	0	0	—	48	47	0	0	—
短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	200	200	0	0	—	301	300	1	1	—
外国証券	802	800	3	3	0	596	600	△3	0	3
その他	230	197	33	38	4	187	186	1	6	5
合計	1,288	1,252	35	41	6	1,842	1,857	△14	10	25

- (注) 1. 評価損益は時価ベースで算出しています。
 2. 子会社、子法人等株式及び関連会社等株式は有りません。
 3. 時価のない有価証券のうち貸借対照表計上額は次のとおりです。
 非上場株式（店頭売買株式を除く）46百万円

8.金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額（単体）

不良債権の状況について

令和元年9月中間決算における金融再生法に基づく開示債権残高（金融再生法開示債権）は、1,549百万円となっており、債権額に占める割合（不良債権比率）は5.73%となりました。

(単位：百万円：%)

区分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D=B+C)	保全率 (D/A×100)
破綻更生債権及び これらに準ずる債権	平成30年9月期	631	447	183	631	100.00
	令和元年9月期	516	428	87	516	100.00
危険債権	平成30年9月期	811	354	66	420	51.90
	令和元年9月期	798	342	63	405	50.81
要管理債権	平成30年9月期	314	120	1	122	38.87
	令和元年9月期	234	113	0	113	48.37
不良債権合計	平成30年9月期	1,756	923	251	1,174	66.86
	令和元年9月期	1,549	884	151	1,035	66.83
正常債権	平成30年9月期	25,912				
	令和元年9月期	25,461				
合計	平成30年9月期	27,669				
	令和元年9月期	27,010				

各計数は、単位未満を切り捨てて表示してありますので、合計が一致しない場合があります。

- (注)
- 「破綻更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
 - 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
 - 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
 - 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破綻更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
 - 「担保・保証等（B）」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
 - 「貸倒引当金（C）」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

地域貢献

当組合は、地域に最も身近な金融機関として、阿賀野市・五泉市・新潟市北区、新潟市秋葉区・新発田市（旧豊浦町）・北蒲原郡聖籠町・東蒲原郡阿賀町を営業地域とし、「地域で生まれ、育てられ、そして地域とともに歩む協同組織金融機関として、お客様とのふれあいを大切に、豊かな地域社会づくりに貢献する。」とした経営理念と相互扶助の精神のもと、地域の皆様一人ひとりの顔が見えるキメ細やかなお取引を基本とし、常に皆様の事業の発展や生活の向上に貢献するため、お客様の利益を第一に考え活動しております。

融資を通じた地域貢献

地域からお預けいただいた預金は、地域経済の発展・活性化に資するために円滑な資金供給を行なう形で地域社会に還元しております。

貸出金に関する事項「地域への資金供給の状況」

貸出金残高	26,983 百万円
預貸率	52.57 %

貸出金残高の内訳

事業性融資	943 先	12,770 百万円
個人向け融資	3,622 先	12,362 百万円
地方公共団体	5 先	1,850 百万円

制度融資の状況

新潟県制度融資	182 件	1,064 百万円
各市町村制度融資	313 件	971 百万円

預金に関する事項「地域からの資金調達の状況」

預金残高	51,324 百万円
------	------------

預金残高の内訳

当座・普通・通知・その他預金	18,413 百万円
定期預金	28,997 百万円
定期積金	3,913 百万円

資金（貸出金を除く）の運用状況

預け金残高	23,270 百万円	
有価証券残高 1,334 百万円	国債	— 百万円
	地方債	42 百万円
	短期社債	— 百万円
	社債	200 百万円
	株式	56 百万円
	その他の証券	1,033 百万円

地域密着型金融の推進

■ 具体的な取組状況

● お取引先企業の経営改善支援強化について

お取引企業への経営支援につきましては、本部に再生支援部署（経営支援室）に、専任職員を配置し、営業店と連携しながら経営改善支援先への定期的な訪問を通して実態把握に努め、業績・財務内容の分析を行い、経営者との面談・意見交換の中でその企業が抱えている問題点を洗い出し、改善取組みへの共通認識のもとできめ細やかな助言や指導を行うなど、資金支援だけでなく生きた支援の取組みも行ってまいります。

● 事業性評価に対する取組み

担保や保証に過度に依存することなく、企業の事業内容や成長可能性等を適切に判断した融資を推進し、中小企業金融の円滑化に取組んでまいります。

● キャッシュフロー重視の取組み

貸付条件変更申出があった場合には積極的に取組み、お客様と協議のうえキャッシュフローに見合った条件変更に応じるなど柔軟性を持った取組みをいたしております。

また、顧客のライフステージに応じたコンサルティング機能や中小企業の経営改善・体質強化へ向けて支援活動に積極的に取り組んでまいります。

地域清掃・地元行事への参加

地域の一員として、皆様とのコミュニケーションづくりをめざし、全店を挙げて、積極的に地域清掃や祭礼・行事等へ参加し地域の発展・活性化に努めております。

本 店	・清掃活動	「店舗周辺の草取り、ゴミ拾い、清掃活動」
安田支店	・清掃活動	「店舗周辺のゴミ拾い、清掃活動」
笹神支店	・清掃活動	「店舗周辺のゴミ拾い、清掃活動」
豊栄支店	・清掃活動	「店舗周辺のゴミ拾い、清掃活動」
五泉支店	・清掃活動	「店舗周辺及び駅前の草取り、ゴミ拾い、清掃活動」
村松支店	・清掃活動	「商店街アーケード内、駐車場の清掃」
本町支店	・清掃活動	「店舗周辺及び商店街歩道の草取り、ゴミ拾い、清掃活動」
新津支店	・清掃活動	「店舗周辺歩道の草取り、ゴミ拾い、清掃活動」
本 部	・清掃活動	「店舗周辺及び駅前の草取り、ゴミ拾い、清掃活動」
全 店	・行事参加	「2019 きなせやまつり・民謡流しに参加」



五泉きなせやまつり



清掃活動

文化的、社会的貢献に関する活動

若手経営者の会「ねくすとF. C.」

地域の活性化のため、また地域経済の将来を見据え、地元企業・事業先における若手経営者の育成を目的として設立し、積極的な活動を行っている「ねくすとF. C.」の会員数は、令和元年9月現在で98名となり活動状況は以下の通りです。

1. 総会・新年会

平成31年2月26日(火)
・会場 ガーデンホテル「マリエール」 参加者数 48名

2. 新年講演会

平成31年2月26日(火)
・講演会講師 にいがた総おどり総合ディレクター・岩上 寛氏 参加者数 50名

3. 会員親睦ゴルフ大会

平成31年4月6日(土)
・会場 新津カントリークラブ 参加者数 26名

4. 研修会

令和元年5月16日(木)
・講演 「地域活性・アルビレックスグループ世界展開について～7つのきづき～」 講座
・講師 アルビレックス新潟 代表 是永 大輔氏 参加者数 40名

5. 納涼会

令和元年8月9日(金)
・会場 割烹「井浦」
・講演会講師 (株)ニール代表、新潟発R編集長 高橋 真理子氏 参加者数 31名

6. 研修会

令和元年11月6日(水)
・講演 「集客・売上に結びつくキャッシュレス決済の事例と動向」 講座
・講師 グッドワード 代表 杉山 貴思氏 参加者数 38名

7. その他

・五泉市「ひゃんで花火大会」および新潟市秋葉区「あきはなびまつり」への協賛



「集客・売上に結びつくキャッシュレス決済の事例と動向」講座

チャリティゴルフ大会の開催

令和元年9月6日（金）に、第5回チャリティゴルフ大会を新津カントリークラブ、笹神五頭ゴルフ倶楽部の2会場において開催いたしました。

参加者は221名（新津103名、笹神五頭118名）であり、大変多くのプレーヤーが集い、存分にプレーを楽しみました。



尚、当日のチャリティ募金につきましては、地域の社会福祉事業に役立てていただくため、五泉市、阿賀野市、新潟市秋葉区、新潟市北区の社会福祉協議会に、当組合からの寄附金も併せて贈呈をさせていただきました。



五泉市社会福祉協議会



阿賀野市社会福祉協議会



新潟市秋葉区社会福祉協議会



新潟市北区社会福祉協議会

地域を応援する取り組み

阿賀野市・五泉市との包括連携協力に関する活動について

阿賀野市・五泉市連携ローンのご案内

この度、阿賀野市・五泉市と連携したローン商品をご用意いたしました。
この機会に是非ご利用いただきたく、ご案内いたします。

1.これから住宅関連のローン利用を検討されている方へ

- ・住宅ローンでは・・・
阿賀野市・五泉市の住宅関連補助会をご利用される場合、金利優遇が適用されます。
住宅ローン所定の金利から
0.1%優遇いたします。
- ・比較的小規模な住宅関連工事にも・・・
阿賀野市・五泉市の住宅関連補助会をご利用される場合、金利優遇が適用されます。
住宅関連目的ローン（ファミリーローン：QUICK所定の金利から
0.1%優遇いたします。

2.これから学費関連のローン利用を検討されている方へ

- ・学費関連目的ローンでは・・・
当組合で新規に学費関連目的ローンをご利用いただいた世帯で、当該資金の対象学生が
県外の学校等を卒業後、阿賀野市・五泉市内の事業所に就職した場合、金利優遇が適用されま
ご利用中の学費関連目的ローン（ファミリーローン：QUICK所定の金利から
1.0%優遇いたします。
- ・奨学会（日本学生支援機構の奨学会など）の借換にも・・・
奨学会をご利用中の世帯で、当該資金の対象学生が県外の学校等を卒業後、阿賀野市・五泉市
の事業所に就職し、その際に「利用中の奨学会の返済方法を変更したい」などで
当組合で借換を行なう場合、金利優遇が適用されます。
学費関連目的ローン（ファミリーローン：QUICK所定の金利から
1.0%優遇いたします。

さくらの街信用組合は、阿賀野市・五泉市における、地方創生の実現に向けた認識を共有し、少子・高齢化と人口減少への対応及び地域経済の活性化を図ることを目的として、平成29年1月30日五泉市と2月7日に阿賀野市とそれぞれ連携協定を締結いたしました。

平成29年4月1日より阿賀野市・五泉市との連携商品の取扱いを始めました。更に平成30年7月23日五泉市との連携融資商品の取扱いを開始し、同年11月1日より阿賀野市との連携融資商品の取扱いを勧め、若い世帯の市内定着を支援したいと考えております。

「さくらの街信組職域サポート」契約の開始について

「さくらの街信組職域サポート」とは
さくらの街信用組合と締結いただいた事
業所へお勤めのみなさまへ、さまざまな
優遇サービス・商品の提供を通じてサポ
ートする取り組みです。

職域サポート契約



職域サポート契約先従業員様に対し、優遇商品をご用意させていただいております。

○優遇対象ローン融資商品

- ・住宅ローン 通常の優遇金利から職域サポート経由で更に▲0.1%優遇
- ・目的ローン「QUICK」 通常の優遇金利から職域サポート経由で更に▲0.1%優遇
- ・目的ローン「おまとめ」 通常の優遇金利から職域サポート経由で更に▲0.2%優遇

○優遇対象預金商品

- ・定期預金 店頭表示金利に+0.05%優遇
- ・定期積金 店頭表示金利に+0.05%優遇

土曜窓口営業、夜間ローン相談日

日中、店舗の営業時間に来店できないお客さまへ
利便性向上として、「土曜窓口営業」と平日には
「夜間ローン相談日」を設けました。(本店・安田
支店・豊栄支店・五泉支店・村松支店・新津支店)

- ・「土曜窓口営業」
毎月第2土曜日 9:00~15:00
- ・「夜間ローン相談日」
毎月第2・第4木曜日 15:00~19:30

さくらの街しんくみ

毎月第2土曜日限定

土曜日窓口営業

・営業時間 9時~15時

毎月第2・第4木曜日は

夜間ローン相談日

・実施時間 15時~19時30分



当組合のローン商品のご案内

借入をまとめてスッキリ!

買い物クレジットが残っている...
気軽に話せる金融機関は?
学費の支払いがある...
毎月の返済を減らしたい...
車のローンが残っている...
借入の一本化ってできるのかな...
カードローンの支払いがある...

さくらの街しんくみ
毎月、第2土曜日の窓口営業、
第2、第4木曜日の夜間ローン相談
を実施中です!

こんな時、おまとめローンで解決!

・「おまとめローン」

当組合では、借入金を一本にまとめる「おまとめローン」を取り扱っております。

「おまとめローン」は、各種クレジットやキャッシングなど複数の借入金を一本にまとめた方、複数ある借入金の返済額を減らし、家計に余裕を持たせたいという方にお勧めです。

合併のご案内

皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、私どもさくらの街信用組合と新栄信用組合は、協同組織の特性である人的結合と地域密着により経営基盤を拡大・強化し、地域社会の発展と向上に貢献していくことで組合員から信頼される地域金融機関を構築すべく、令和元年12月9日(月)をもちまして、新組合「はばたき信用組合」としてスタートする予定です。「はばたき信用組合」は、新潟市9店舗、阿賀野市2店舗、五泉市2店舗の計13店舗を有する信用組合となり、これまで以上に地元の皆様のご要望にお応えすることができ、利便性も増すものと確信しております。

これからも両信用組合の伝統や特徴を生かしつつ、さらに広がった地域の皆様とのふれあいと絆を大切に、信頼され親しまれる地域金融機関として、一層のサービスの向上と地域貢献、健全経営に努める所存でございます。

なお、合併に際しましてはお客様にできるかぎりご不便をおかけすることのないよう準備を進めておりますので、何卒ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

今後とも役職員一同、より一層皆様にご満足いただけるよう努めてまいりますので、引き続きご支援いただきますよう謹んでお願い申し上げます。

新組合「はばたき信用組合」店舗一覧（金融機関コード 2357）

店舗コード	店舗名	カナコード	郵便番号	所在地	電話番号
001	本店	ホンテン	950-0166	新潟市江南区旭2丁目1番2号	(025) 382-5501
002	馬越	ウマコシ	950-0865	新潟市中央区本馬越1丁目2番11号	(025) 243-1831
003	大形	オオカタ	950-0814	新潟市東区逢谷内6丁目9番5号	(025) 274-3466
004	上町	カミマチ	950-0164	新潟市江南区亀田本町4丁目1番52号	(025) 382-3161
006	松浜	マツハマ	950-3125	新潟市北区松浜本町1丁目4番16号	(025) 259-5711
007	稲葉	イナバ	950-0127	新潟市江南区諏訪3丁目4番23号	(025) 382-3811
008	横越	ヨコゴシ	950-0208	新潟市江南区横越中央2丁目1番3号	(025) 385-3831
021	阿賀野	アガノ	959-2021	阿賀野市中央町1丁目9番1号	(0250) 62-2880
022	安田	ヤスダ	959-2221	阿賀野市保田174-9番地2	(0250) 68-2228
024	豊栄	トヨサカ	950-3325	新潟市北区白新町3丁目7番6号	(025) 386-1181
031	五泉	ゴセン	959-1824	五泉市吉沢2丁目1番30号	(0250) 43-2211
032	村松	ムラマツ	959-1704	五泉市村松甲2248-1	(0250) 58-2121
034	新津	ニイツ	956-0025	新潟市秋葉区古田1丁目2番29号	(0250) 24-8281
100	本部	センター	950-0166	新潟市江南区旭2丁目1番2号	(025) 382-4111



つながる心 はばたく未来

はばたき信用組合

シンボルマークは2枚の羽根がはばたく翼を形作っています。ふたつの信用組合が合併し、「新潟の地を大きくはばたかせる」新たな信用組合としての姿勢と意気込みを表しています。また、ふたつの羽根は2信用組合という事だけでなく、組合と組合員、組合員と組合員、組合と地域、これら両者の強い結びつきも表現し、ともにはばたく姿、発展する姿を表現しています。

さくらの街信用組合

本 部

〒959-1824

新潟県五泉市吉沢2丁目1番30号

TEL 0250-43-3418

FAX 0250-42-2555

本 店

〒959-2021

新潟県阿賀野市中央町1丁目9番1号

TEL 0250-62-2880

FAX 0250-62-4695